

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームはなの家

(ユニット名) 梅(2F)

記入者(管理者)  
氏名 渡部 静佳

評価完了日 平成 19年 8月 22日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月9日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103136		
法人名	医療法人創実会		
事業所名	グループホーム はなの家		
所在地	愛媛県松山市六軒家町3-19 (電話)089-924-1711		
管理者	河田 明美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年10月1日	評価確定日	平成19年11月9日

【情報提供票より】 (平成19年9月11日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年2月26日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	30 人	常勤	22人, 非常勤 8人, 常勤換算 26.8人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(100,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年9月11日現在)			
利用者人数	27 名	男性 6 名	女性 21 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名
要介護3	8 名	要介護4	6 名
要介護5	4 名	要支援2	1 名
年齢	平均 87 歳	最低 76 歳	最高 104 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>職員は、利用者に礼儀や言葉遣い等を教えてもらったり、料理の味付け等も学んでおられる。又、利用者の話される戦争体験に耳を傾け、平和の尊さを改めて考えさせられることもある。出来るだけご自身で食べることができるよう、食器やスプーンを工夫されたり、根気よく支援されていた。目の不自由な方には、口に運ぶ際に「少し冷たいですよ」等と声をかけておられた。母体病院の院長、院長夫人、副院長は毎日、ユニットに分かれて職員や利用者とともに歓談しながら昼食を取られており、さりげなく利用者を気遣っておられた。食事の下ごしらえや下膳、食卓拭き等、利用者は職員とともにされている。利用者同士で「まだ、おかずが残っているよ」等と声をかけ合ったり、お話し合ったりしている様子もうかがえた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、勤務前に必ず申し送りノートに目を通し押印する等、職員間の申し送りの仕組みについて徹底をされた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価は、ミーティング時に全職員に説明がなされ、個々で取り組み、その後、各ユニットごとにリーダーがまとめ、さらに、各ユニットリーダーで検討し作成された。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・これまでに7回、運営推進会議を開催された。事業所の取り組み報告や情報提供、問題提起等をされ、出席者と意見を交換されている。出席された地域の方の紹介でカラオケのボランティアの方に来ていただいている。又、民生委員の方から地区のいきいきサロンへのお誘いがあり、10月から利用者が参加される予定になっていた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・家族会は、1年に3回、事業所の季節行事の際等に開催されており、多くのご家族が出席されている。家族会での意見は少ないが、ご家族から清掃に対する要望があり、職員で話し合われ、すみずみまで清掃するよう心がけておられた。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・事業所では毎年、五月に「はな祭り」を開催されている。今年は地元のケーブルテレビを通じて宣伝がなされ、又、当日の様子もテレビで放映された。例年にも増して多くのご家族や地域の方々に参加された。開設時から地域の小学校の「ふれあいクラブ」の児童達と交流されており、利用者は楽しい時を過ごされている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			基本方針である家庭的な環境でという理念のもと、行ってきたが、地域密着型サービスとして見直し、地域に馴染める理念に作り変えた。		これまでの理念を見なおし、生活に合った独自の理念を作った。新しい理念をもとに、日々実践している。
			(外部評価)		
			「ぬくもりは我が家のように」という法人の理念に沿って、事業所では、利用者が、年を重ねても地域の中で安心し、自分らしく生活出来るよう取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			申し送り時、理念を復唱して、利用者の尊厳と安心した生活を送れるよう確認し、日々取り組んでいる。		新しい理念をもとに、ユニットでも理念を作り日々実践している。
			(外部評価)		
			運営理念に基づいて各ユニットごとに職員が作成された理念を掲示し、日々の申し送り時に振り返っておられる。管理者は、理念を念頭に置いて実践することの大切さを職員に話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を出入り口の見えるところに掲示しており、来訪時質問があれば説明し、理解していただいている。		地域の人々と会う機会を増やし、ホームの果たそうとしている理念を伝えていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所の店へ買物へ行ったり、散歩がてら花や動物を見たり、町内のイベントに声をかけていただいたり、ボランティアの来訪が増えつつある。		町内イベントや会に参加させていただく機会を増やし気軽に声かけ、立寄ってもらえるようにしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の敬老会、お祭り、運動会に参加させていただいた。ホームへは近くの小学校の児童が遊びに来たり、はな祭りには近辺の人々が大勢来られ楽しまれた。 (外部評価) 事業所では毎年、五月に「はな祭り」を開催されている。今年は地元のケーブルテレビを通じて宣伝がなされ、又、当日の様子もテレビで放映された。例年にも増して多くのご家族や地域の方々が参加された。開設時から地域の小学校の「ふれあいクラブ」の児童達と交流されており、利用者は楽しい時を過ごされている。		まだまだ地域の活動はたくさんあるので参加し、交流を深めたい。ホームでも何か地域のためできることを考え実行したい。 管理者は、町内会のいきいきサロンで事業所についてお話しされており、さらに、今後も認知症について地域の方に理解していただけるよう積極的に参加したいと考えておられた。又、地区の敬老会や文化祭等の地域活動に、事業所が手助け出来ることはお手伝いしていきたいとお考えを持っておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の会やイベントに参加させてもらえるようになったばかりで、地域の高齢者のために貢献できていない。地域の専門学校の実習生を受け入れている。		ホームが地域の人に支えてもらうばかりでなく、職員が身につけた知識や技術を生かし、役立つことを考え取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員全員自己評価し、外部評価をして1年を振り返り、反省や次回への目標ができ、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、ミーティング時に全職員に説明がなされ、個々で取り組み、その後、各ユニットごとにリーダーがまとめ、さらに、各ユニットリーダーで検討し作成された。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、勤務前に必ず申し送りノートに目を通し押印する等、職員間の申し送りの仕組みについて徹底をされた。		評価を生かし、具体的に取り組む。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議でサービス評価の報告や話し合いを行い、それに対するサービスの向上に活かしている。		
			(外部評価)		
			これまでに7回、運営推進会議を開催された。事業所の取り組み報告や情報提供、問題提起等をされ、出席者と意見を交換されている。出席された地域の方の紹介でカラオケのボランティアの方に来ていただいている。又、民生委員の方から地区のいきいきサロンへのお誘いがあり、10月から利用者が参加される予定になっていた。		ご家族から、松山市の歌「この街で」を事業所の「はな祭り」の際の踊り等に採り入れてはどうかとの提案や、法人(創実会)の歌を作ってはとのご意見があり、検討されていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			普段から市の担当者とかかわりがあり、松山市社協の方とは疑問や相談にのってもらっている。		
			(外部評価)		
			松山市社協の方に相談されたり、家族会にも出席いただいている。運営推進会議時、市の担当者の方から地域のイベント参加のあり方等について助言いただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			地域権利擁護事業や成年後見制度の研修に行った職員より、資料をもとに学ぶ機会があった。必要であれば相談支援が出来る体制がある。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会があり日常生活で虐待が見過ごされることはない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、ホーム内を案内したり、パンフレットなどでわかりやすいよう説明し、利用者や家族の不安、疑問点を理解、納得していただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 感情や言葉をうまく表せない利用者は、日頃のかかりで汲み取ったり、家族を通じて変わった様子がなかったか、不満、苦情など職員や管理者、外部者へ表せる機会を設けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会や来訪時、月1回送る文書で報告している。健康状態に異変があった場合はその都度連絡している。		職員の移動や配置についてはリビング内に写真を貼ってお知らせしている。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話しされており、電話やファックスでもご連絡している。「はな便り」を定期的にご家族にお届けし、運営推進会議の内容や職員の紹介等も掲載されている。事業所内には、ユニット毎に、コメントが添えられた職員の写真や似顔絵を掲示されていた。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の来訪時やケアプラン説明時に意見等があれば、遠慮なく言うて頂くようにしている。また、職員で検討し改善へつなげている。		管理者や職員は家族等が言いやすい雰囲気作りをしている。
			(外部評価) 家族会は、1年に3回、事業所の季節行事の際等に開催されており、多くのご家族が出席されている。家族会での意見は少ないが、ご家族から清掃に対する要望があり、職員で話し合わせ、すみずみまで清掃するよう心がけておられた。		今後も、ご家族がさらに意見を出しやすくなるよう、働きかけや工夫を重ねていかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングの場で意見や提案を聞く機会を設け、必要に応じて反映させている。		普段から職員と話し合える機会を作っかかわりあいを持っていけるようにしたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日常の忙しい時間帯や行事のある日など状況に応じて職員の数を増やしたり出来るようパート職員を確保し調整している。管理者は緊急時や夜間の対応に動ける体制を取っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者は、職員には声かけ悩みや相談に応じやすい態度で接してくださっている。が、それぞれ理由があり離職する職員が居る。 (外部評価) 日常的に3ユニット間で交流をされており、職員は、利用者と顔馴染みの関係を築いておられる。運営者は、毎日の昼食を職員、利用者とともに取られている。管理者は、職員にさりげない気配りや声かけをされており、職員も何でも相談をされている。		異動や離職があった場合、やむを得なかったことを利用者に解るように説明し、少しでもダメージを小さくしたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の経験や習熟度の段階に応じた研修に参加している。勤務日、時間を考慮し、研修費用も協力している。 (外部評価) 県GH協議会主催の職員研修の年間計画書等に基づき、職員の希望に沿って研修を受講できるよう取り組まれている。職員は、口腔ケアや救急法等、研修内容を日々の実践に活かしておられる。2ヶ月毎に開かれている事業所の勉強会では、外部研修の報告等もされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他ホームの行事に参加したり、相互研修を通じてサービスの向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			夏祭り等の行事の際には、職員は利用者とともに地域のグループホームと互いに訪問し合っておられる。相互研修や相互評価等、他の事業所との交流を通じて、質の向上に取り組んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の希望日に休みを取ってくれたり、ピアガーデン、忘年会を催している。また、リビング内の和室で休憩を取れる場所を用意している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修や資格取得に協力し、向上できるよう努めている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			見学や相談時にはなるべく本人自身から話していただき、傾聴し、受け止め、信頼関係が築けるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  本人と家族の体験や想いを傾聴し、理解しながら受け止めて信頼関係が築けるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  本人と家族より相談を受けた時の実情や要望をもとに、何が必要かを見極めサービス利用の対応をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  利用者の性格なども考慮し、まずホームに馴染んで安心できるよう家族や職員間で相談し工夫している。  (外部評価) 入居前に、ご家族やご本人が事業所を見学に来られたり、管理者が利用予定者に会い、お話しされている。併設のデイケアの利用者が入居される場合もある。食事の際、新しい利用者のために、全員のネームプレートをお食卓の上に置く等、お互いの名前がわかるよう工夫されている。入居間もない方には、ご家族に頻りに足を運んでいただくようお願いされている。		他の利用者もかかわりができるように考慮する。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  一緒に過ごす時はなるべく会話し、好きな事を一緒にしたり、支え合う関係を築いている。  (外部評価) 職員は、利用者に礼儀や言葉遣い等を教えてもらったり、料理の味付け等も学んでおられる。又、利用者の話される戦争体験に耳を傾け、平和の尊さを改めて考えさせられることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の来訪時は必ず声かけ、胸のうちを共有できるようにして一緒に支えていくよう信頼関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の中には遠方の方や、忙しい方、来訪できにくい方がおられるが、関係が崩れることなく再会を喜び、共に過ごしていただいている。そのときは近況の報告し、喜びを共有している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族以外の知人にも気軽に面会や電話をかけてくださっている。馴染みの場所にはなかなか出向くことができにくい状況にある。		思い出の場所や、行き付けの場所があれば、家族と相談し、実行できるようにしたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日常生活の中で利用者それぞれがいたわりあう姿が見られる。職員は、利用者同士の関係を把握できている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスを終了しても、はな祭りの時には招待したり、ホームへ訪ねて来てくださる方もいる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日常の会話や表情で把握できるものの、利用者一人ひとりの思いや意向の中には実現でき難いものもある。		希望がそえるよう家族にも本人の意向を理解していただき協力お願いし、実現に向ける。
			(外部評価)		
			職員は、日々のかかわりの中で、利用者一人ひとりの思いや意向を汲み取るよう努めておられる。		管理者は、さらにご本人の希望や意向を把握し、共有して支援できるよう今後、センター方式のアセスメントシート等を取り入れ取り組んでいきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人ひとりをアセスメントし、利用者の暮らしやプライバシーを重んじながら安心した生活を送れるよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日々観察を行い、職員間で意見交換を行い、どのような状態であるか相談する場、機会を持っており、把握できるように努めている。		利用者のできること、できないことを見つけ、自立支援に向ける。
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			職員間で意見交換を行い、家族からも意見や希望を聞き、なるべく本人の意向にそう介護計画作りを目指している。		
			(外部評価)		
			「利用者が自分らしく暮らせるよう」ご家族の希望や職員、医療関係者の意見を取り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			月1回の介護計画の評価、3ヶ月に1回見直し、立て替えを行っているがその期間内でも利用者の状態に合わせて臨機応変に見直し立て替えをしている。		
			(外部評価)		
			毎日の「ケアチェック表」で利用者の日々の変化を確認し、随時、介護計画に反映されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々個別に記録し、評価や立て替え時に見直し、職員間でも意見交換し、介護計画を作成実現に向ける。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			母体が病院であるため、医療連携体制は取れており、時間外休日でも緊急時の対応は取れている。		
			(外部評価)		
			事業所では、病院への送迎等、ご本人やご家族の要望に応じて対応されている。時に、併設のデイケアの催しに、職員が付き添い参加されている。		管理者は、来春4月オープンの際の隣設の複合福祉施設との連携を図っていききたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティア,児童に來訪してもらったり,消防の防災訓練に参加している。		地域の集まりには積極的に参加して,訪問していただけるようにしていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 病院受診の際,本人や家族の状況により,介護タクシーを頼んでいる。ボランティアの散髪や,移動理容所に来てもらっている。		地域の中で利用できるサービスを把握し,利用したい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議で関わりあい,情報交換を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) これまでのかかりつけ医を基本としつつも、併設の病院や他の医に受診する場合は家族に相談,同意を得ている。眼科,歯科,皮膚科の訪問診療を受けられるよう支援している。 (外部評価) 母体病院の医師がかかりつけ医になっている利用者が多いが,入居前のかかりつけ医も受診出来ることを話されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 併設の病院に認知症に詳しい医師がおり,治療を受けられるようになっている。また,入所前よりかかりつけ医が居る場合は引き続きそこで治療を受けてもらっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  各ユニットに1名は看護職員を確保しており、普段から利用者の健康管理や医療活用の連携をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  利用者が入院した時は、見舞いで、不安やストレスを軽減し、病院関係者、家族と情報交換や相談に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  利用者の重度化を予測した地点で医師と連携取り、関係者全員で統一している。  (外部評価)  入居時に、重度化した場合や終末期の事業所の方針について説明をされている。その後も、医師と密に連携を図り、ご家族と話し合いをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  本人の意向を確認した上で治療方針を決め、今後のかわりについて説明してすすめている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  ホームから別の居所へ移り住む際、家族やケア関係者間で十分に情報交換をし、落ちついて生活できるように努める。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			プライバシーや個人情報を他の利用者、家族に話さないよう徹底している。利用者の言葉かけに状況により、良くない時がある。		職員間で、利用者がどんな状況のときでも、優しい言葉かけができるよう意識を高める。
			(外部評価)		
			トイレには大きめのタオルが用意されており、利用者の排泄の際に利用する等、個々のプライバシーに配慮した介助に心がけておられる。職員は、優しさと思いやりを持って利用者に接するよう心がけておられるが、時に声かけや声の大きさ等、配慮が必要な場面も見受けられた。		さらに今後も、職員の利用者へのかかわり方について話し合いを重ねていかれることが期待される。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日々の生活の中で本人の思いや希望が読み取れる会話や表情がある。また、自分で決めたり、納得できる機会を作っている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの生活のリズムを大切にしているものの、ホームの流れがあり、それに合わせている傾向にある。		一人ひとりの生活パターンにあった暮らしを再度確認し検討する。
			(外部評価)		
			職員は、食事や食後の口腔ケア等、利用者一人ひとりのペースで行えるよう声かけや気配りをされていた。調査訪問時の昼食後、職員は、利用者個々にコーヒーを召し上がるか紅茶にされるか、希望を聞いて支援されていた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 一人ひとり個性があり、趣味も違うので、着替えの際は、自分でこだわりのある方は決めてもらっている。理容は、ボランティア、移動理容所のどちらかを選んでもらっている。他に、希望するところがあればそちらへ行くようすすめている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニューを決めるときは好みのものを取り入れるよう努めている。下ごしらえや片付けをできる範囲で手伝っていただき、食事は一緒に食べている。 (外部評価) 出来るだけご自身で食べることができるよう、食器やスプーンを工夫されたり、根気よく支援されていた。目の不自由な方には、口に運ぶ際に「少し冷たいですよ」等と声をかけておられた。母体病院の院長、院長夫人、副院長は毎日、ユニットに分かれて職員や利用者とともに歓談しながら昼食を取られており、さりげなく利用者を気遣っておられた。食事の下ごしらえや下膳、食卓拭き等、利用者は職員とともにされている。利用者同士で「まだ、おかずが残っているよ」等と声をかけ合ったり、お世話し合ったりしている様子もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の体の害にならない程度に楽しみの一つとしている。タバコ喫煙者は他の利用者が不快にならない場所で吸っていただいている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを調べ、日中はオムツから紙パンツ、紙パンツから布パンツとトイレで排泄できるよう支援し、身体機能向上につなげている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望や体調に合わせて決めている。		
			(外部評価)		
			入居時に、時間帯の希望を聞いておられる。入居間もない頃は、基本的に同性介助とされている。シャワー浴の際には、足湯も合わせて支援されている。入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、タイミングを見計らって声かけされる等、工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			生活のリズムを崩さないよう部屋でゆっくり昼寝や休息をとっていただいている。また、部屋では不安な利用者にはリビングで休んでいただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			できるお手伝いは日々の役割としてお願いし、していただいている。時には外出を相談し決めて、楽しみにして参加していただいている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、男性の利用者の方が「洗濯物たたみを楽しんでやっています。日めくりも私がめくっています。今日は10月1日ですね」と笑顔で話してくださいました。又、昼食後に新聞に目を通して目を通している方もおられた。歌唱、オセロゲーム、ユニット対抗で行われる風船バレーボール等、利用者それぞれの力を発揮できるよう支援されている。ビールやたばこをたしなまれる方もおられる。誕生日にはケーキを作り、その方のご家族を招待し、一緒にお祝いをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			日頃は職員が預かっているが、買物や必要時には本人に聞き使用している。中には買物へ一緒に行き自分で支払っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			敷地内の散歩や買物はできているものの、日常的とは言えない。		利用者のレベルが下がっていたり、もともと戸外に出たがらない方もいるので、その対処を考えたい。
			(外部評価)		
			近所のホームセンターへ、散歩がてら買い物に出かけられたり、利用者の希望で外食に行かれることもある。四季折々の花を訪ねて、バラ展や菊花展等を観賞されている。		管理者は、今後、利用者のお好きなカラオケと一緒に行ってみたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			普段行けない遠方には家族と相談しながら実現に向けて取り組んでいるが、機会は少ない。		普段行けないところへも希望があれば、家族と実現に向けて話し合い、機会を増やしたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は本人自身ができるよう取り次いでいる。手紙のやり取りは困難なためできていない。届いた時には代りに読んで聞かせている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間の制限なく常時受け付けている。気軽に来訪され、部屋もしくはリビングで過ごされている。その時はお茶を用意し、一息ついてもらっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  職員は理解しており、身体拘束は行っていない。利用者の中にベッドより転倒の恐れのある方がおられ、家族の希望により2本柵をつけている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  居室には鍵がない。日中ユニットで入り口、玄関にはかけておらず、夜間は防犯のため施錠している。		
			(外部評価)  日中は、玄関、ユニット入り口は施錠しておらず、自由に出入りできるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  職員が連携取りながら所在や様子を確認し、安全を確保している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  注意の必要な物品は保管場所を決め保管し、取り扱う時は付添い危険を防いでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  事故防止の知識を学び、取り組んでいる。事故が発生した場合は事故報告書に状況を詳しく書き再発防止のため話し合い検討している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急対応や心臓マッサージ訓練は研修に行き、職員同士で定期的に訓練を行っている。他の事故発生時のマニュアルがある。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害対策マニュアルを作り、定期の点検や避難訓練をしている。近くの消防署との協力体制が出来ている。 (外部評価) 定期的に避難訓練を実施し、毎月、防災マニュアルに沿って防災チェックを行っておられる。		運営推進会議で協力をお願いし、家族や地域との具体的な連携マニュアルを作成したい。  次回の家族会の際に、ご家族も参加して避難訓練を実施する予定となっている。地域の方にも参加していただけるよう声かけをされている。さらなる安全への事業所独自の取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 生活の中で起こりうるリスク(喫煙、事故等)は、入居時に家族に説明しており、話し合いながら対応策を取っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常生活で体調の異変に気付いたら速やかに報告し対応している。また、職員にも記録し、申し伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>どのような薬を服用しているかは薬の処方箋や医師の指示にて理解している。症状の変化についても何かあれば報告し対応している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排便チェックし、排便を促す飲料や食材を選び、体操や必要時には腹部のマッサージをしている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後は必ず口腔ケアを行い清潔保持と状態を点検している。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎回食事摂取量、必要者には水分摂取量を記録し、1日を通じてカロリーや栄養不足にならないようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、食事制限のある方には、さりげなく量を少なめにされたり、食が進まない方には、栄養補助飲料で補う等、配慮されていた。献立の際、塩分調整に留意されながら、汁物を付ける等、水分確保に心がけておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染症には日頃予防し、発症した場合には早期治療、他の利用者に感染しないよう徹底している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所の布巾,まな板等調理用具は消毒,乾燥し,衛生を保持している。食材は新しいものを買って使っている。</p>		
<p><b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入り口にはベンチを置き一息できる場所を作っている。玄関内には,気持ちや和むよう季節毎に 節句人形,笹飾り,クリスマスツリー、門松などを置き,安心して出入りできるようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>外から入る光に合わせて電灯やカーテンで調節している。季節の花を生けたり、音楽をかけたりして居心地良く過ごしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や居間には季節の花が生けられていた。居間の壁には、地域の小学校の児童からのメッセージカードや、利用者とともに作った季節感のある飾り物が掲示されていた。又、1年間の行事予定が大きく分かりやすく書かれたボードが掛けられていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビング内のソファやテーブルで利用者同士過ごしたり、一人になりたい時は北側のソファに座ったり各部屋で過ごしたりしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人の使い慣れた家具類や物品を持って来て頂くなど、家族に協力いただき、安心して過ごしていただいている。		
			(外部評価)		
			居室のドアに、小学生が描いた利用者の似顔絵を貼っている方もおられた。居室には、使い慣れた家具やテレビ、時計等を持ち込まれていた。ご家族の写真やぬいぐるみ、生花、風船バレーボールの優勝メダル等を飾っておられた。外国旅行の思い出に世界地図を貼っておられる方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者に合わせエアコンを調整したり、空気の流れを良くするために窓の開閉、換気を適宜行っている。冬には床暖房を使用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーとなっており、必要場所には手すりをつけている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			自宅トイレのドアと開閉方法が違うので戸惑ってしまう利用者にはその都度伝え、共に行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには花や野菜を植え、楽しみにしている。建物の周りに畑があるが、駐車場があり安心して活動できる場所とは言えない。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で 囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②利用者の2/3 評価) 3利用者の1/3 4ほとんど掴んで	利用者との暮らしの中や家族からの情報や会話の中で想いや意向を把握できているものの全ての利用者を掴んでいるとは言えない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) 2数日に1回程度 3たまにある 4ほとんどない	利用者が集まる時間は楽しく過ごしたり、昼食後からは比較的ゆったりとして過ごしている。また、ゴミ捨て等のお手伝いや、病院へ物療に行ったり散歩や買物等職員と個人的にも一緒に過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ②利用者の2/3 評価) 3利用者の1/3 4ほとんどいない	一人ひとりのペースで暮らしていただいているが、食事や入浴の時間がホームの流れに沿っている。利用者の体調や状態もあり、無理強いはしていない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ②利用者の2/3 評価) 3利用者の1/3 4ほとんどいない	職員の声かけで笑顔が見られたり、意欲が出ているが、時には職員が声かけても干渉されるのを嫌う時もある。その時は少し距離を置き様子を見たりそっとしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ②利用者の2/3 評価) 3利用者の1/3 4ほとんどいない	外へ出るのをいやがる利用者もいるので、職員が利用者の気持ちを上手く外へ向けるよう対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己 ①ほぼ全ての利用 評価) 2利用者の2/3 3利用者の1/3 4ほとんどいない	毎日、併設の病院医師に申し送り、1週間に1度は往診も受けており、健康管理はできている。また、体調不良に陥った時は、いつでも速やかに対応できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用 評価) 2利用者の2/3 3利用者の1/3 4ほとんどいない	日常生活のかかわりの中で言葉や行動ながら、感じられる想いや要望を把握しそれに添えるような支援を職員や時には家族と相談し安心して暮らしていただいていると思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 ①ほぼ全ての家族 評価) 2家族の2/3く 3家族の1/3く 4ほとんどできて	来訪時には必ず声をかけ、利用者の近況を報告したり、家族の心配事、要求に耳を傾け努力している。また、家族の意向を聞きつつ介護計画を作成している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ②数日に1回程度 評価) 3たまに 4ほとんどない	時折、小学生やボランティアの来訪があるが、他の地域の人々の訪問は少ない。家族の来訪は比較的が多い。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で 囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている  (自己 評価)	1 大いに増えてい ② ② 少しずつ増えて 3 あまり増えてい 4 全くいない  運営推進会議を通して、地域の行事に参加できたり、ボランティアに来ていただいたり と少しずつではあるが、関係が広がり深まりつつある。
98	職員は、生き生きと働いている  (自己 評価)	① ① ほぼ全ての職員 2 職員の2/3く 3 職員の1/3く 4 ほとんどいない  職員間、利用者のことを思い、連携を持ちながら助け合っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う  (自己 評価)	① ① ほぼ全ての利用 2 利用者の2/3 3 利用者の1/3 4 ほとんどいない  日常生活の中で時間の意思や生理的要求を伝えることができ、職員はそれに沿うよう にしている。また、利用者間も馴染みの関係となり、満足した生活を送っていただい ていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う  (自己 評価)	① ① ほぼ全ての家族 2 家族等の2/3 3 家族等の1/3 4 ほとんどできて  大切な家族をお預かりしているので、至らないところや希望があれば遠慮なく伝えて いただくよう声をかけて対処している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ ホームの理念でもある利用者が安心した暮らしができ、家族の方も自由に来られホーム全体が家庭的な環境になるよう心がけている。
- ・ ユニット内の家族同士も馴染みの関係となり、行事などであった時には親しく声を掛け合っている姿が見られる。
- ・ 日頃利用者の方々と共に笑い、楽しむ時間を共有することに力を入れている。
- ・ 母体が病院であるため日頃より健康管理ができています。
- ・ 眼科、皮膚科、歯科など、通院できない利用者へは訪問診療を受け入れており、通院できる利用者へは家族の状況などで付き添いなども行っている。
- ・ 緊急時は夜間や休日でも速やかに対応できる体制になっている。
- ・ 運営推進会議では、地域の方々や、家族の方と真剣に話を進めていくことができ、関係が広がり深まってきている。